

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	Ⅲ-23-(9)	生活歴や生活習慣の情報も増えている。今後も“真の要望”の把握に努めると共に、行動障害の原因も記録し、個別ケアに繋げていきたいと考えている。お花が好きな方が多く、ご利用者個々の花壇(プランター)作りも始める予定である。	馴染みの暮らしを継続できるように利用者の真の要望を引き出した個別ケアに努める。	・センター方式(私の暮らし方シート)を活用し、私が長年馴染んだ習慣や好みを知る。	12 ヶ月
2	I-2-(2)	地域における“グループホームの役割”を検討している。今後も地域の方や老友会の方との交流を増やし、介護相談を受けたり、認知症や認知症ケアの理解を深めて頂ける取り組みを検討していきたいと考えている。	ホームが持つ資源を地域に開放し、地域の方が訪れやすく、利用者も地域に出て行きやすくする。	・ホームの行事に地域の方や老友会の方を招待し、その際ミニ介護教室(認知症について、介護用品の紹介、福祉用具の扱い方等)を開く。	12 ヶ月
3	I-5-(4)	「運営推進会議」を「ホームの運営」のための会議と誤解する方(派出所等)もおられる。ホームの職員も「運営推進会議」の目的を説明しているが、市の担当者からも説明して頂き、派出所の方々の参加に繋げていきたいと考えている。	運営推進会議の誤解を解き、各方面から出席して頂けるようになる。	・市の担当職員の方に、運営推進会議の意義と目的について、各方面へ啓発して頂けるようお願いをする。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月